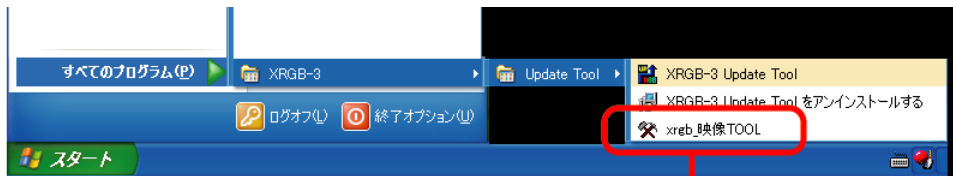


■USB ケーブルの接続の手順と注意事項

- ・ファームウェアアップデートの作業、もしくは映像信号調整ツールを使用するときは USB2.0 に対応した USB ケーブル(TypeA[オス]-TypeB[オス])が 1 本必要です。
- ・USB ケーブルはパソコンの OS(Windows)が完全に起動してから XRGB-3 に接続してください。OS(Windows)が完全に起動する前に XRGB-3 に接続すると、XRGB-3 がフリーズしたり、一時的に起動できなくなります。
- ・パソコンの電源をオフ(切)する場合や、映像信号調整ツールの利用を終了する際は XRGB-3 から USB ケーブルを必ず取り外してください。
- ・USB ケーブルでパソコンから XRGB-3 を制御したりキャプチャーしているときは、XRGB-3 本体のボタンやリモコンのボタンを操作しないようにしてください。

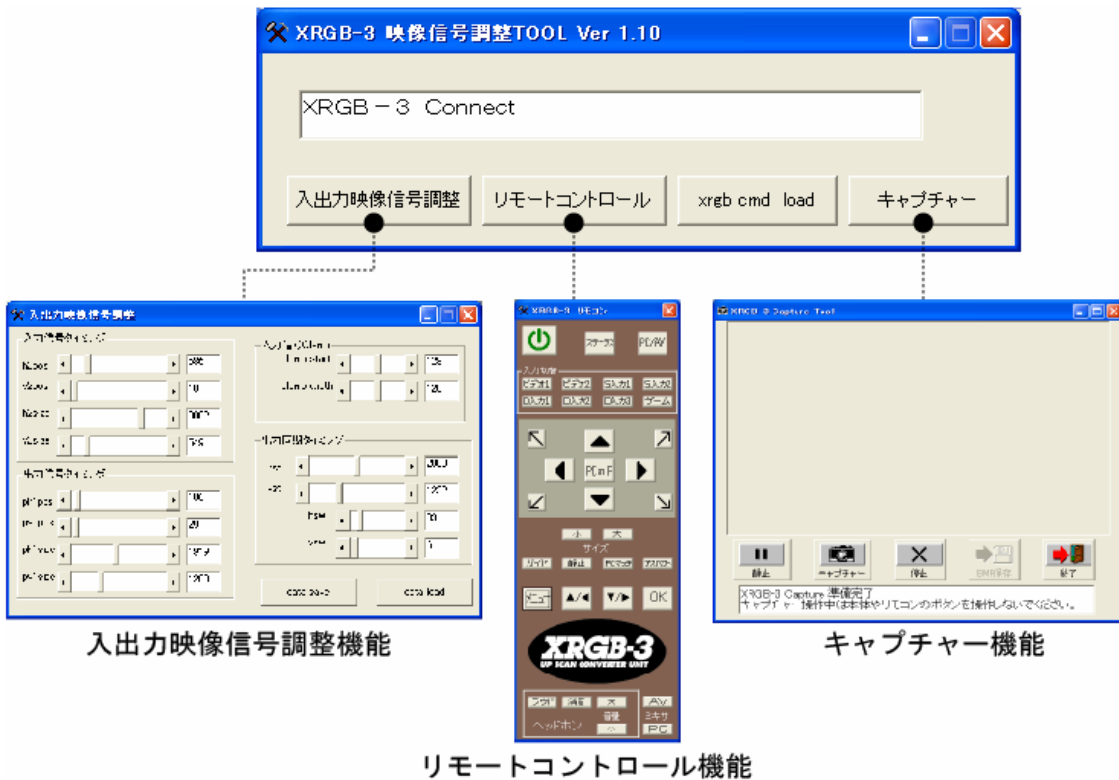
■「XRGB-3 映像信号調整ツール」の起動方法

Windows の「スタート」から「プログラム(Windows2000)」または「すべてのプログラム(WindowsXP)」内の「XRGB-3」→「Update Tool」→「xrgb_映像 TOOL」をクリックしてアプリケーションを起動してください。



XRGB-3 映像信号調整 TOOL

< XRGB-3 映像信号調整ツールの各機能 >



入出力映像信号調整機能

キャプチャー機能

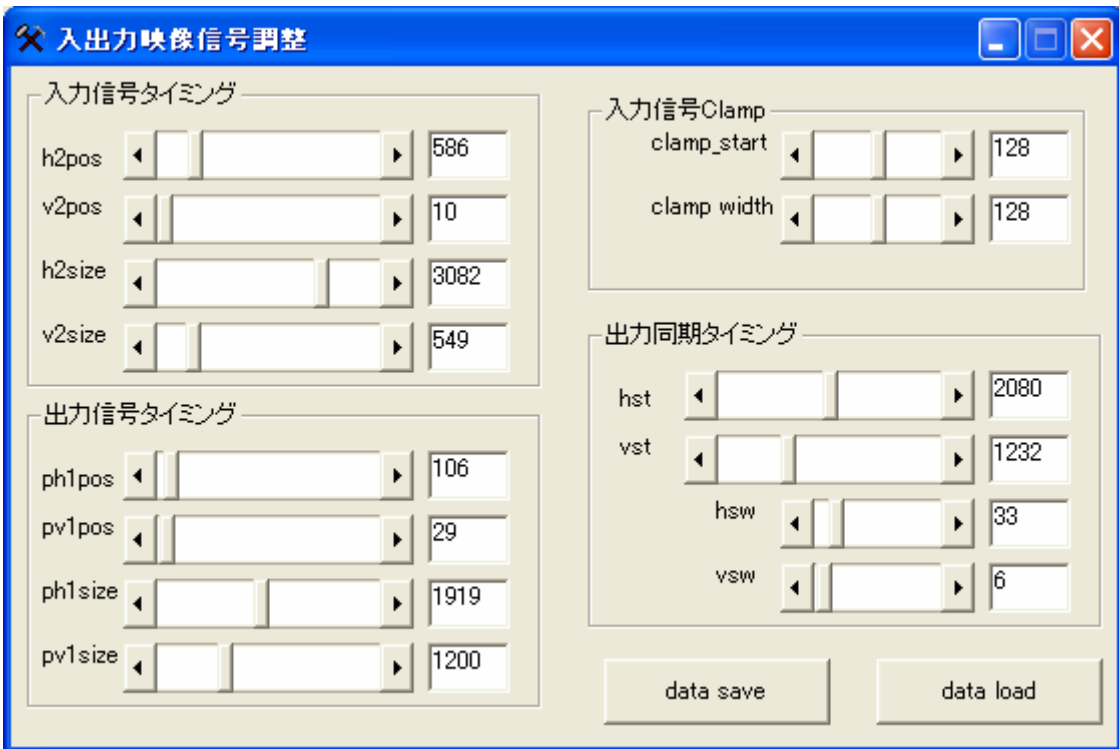
リモートコントロール機能

■機能解説

●入出力映像信号調整ツールの概要

XRGB-3 とパソコンを USB ケーブルで接続することで、パソコンから「GAME IN(21 ピン)」画面の表示幅など、特殊な調整が行えます。ただし、設定内容は現在のバージョンでは XRGB-3 に設定値を記憶させることはできません。

※設定データはパソコン上にデータファイルとして残すことは可能です。



<「USB 特殊画面調整」の制限>

- ・ XRGB-3 に設定を記憶できないため、XRGB-3 を再起動すると設定が失われます。
- ・ 調整内容は出力解像度ごとに異なる場合があるため、解像度ごとに再調整を必要とされる場合があります。
- ・ 「リモートコントロール」や「キャプチャー」機能と同時に使用すると、XRGB-3 の画面表示や動作がおかしくなる、またはフリーズすることがあります。

<画面が乱れて映らなくなってしまう時は・・・>

画面が乱れて映らなくなったときは、XRGB-3 から USB ケーブルを取り外し、XRGB-3 をリセット(工場出荷時の設定に初期化)してください。標準の設定に戻すことができます。またパソコンのアプリケーションがフリーズしてしまった場合は、XRGB-3 から USB ケーブルを取り外し、パソコンと XRGB-3 を再起動してください。XRGB-3 の電源ボタンが操作できない場合は AC アダプターの挿抜が必要になる場合があります。

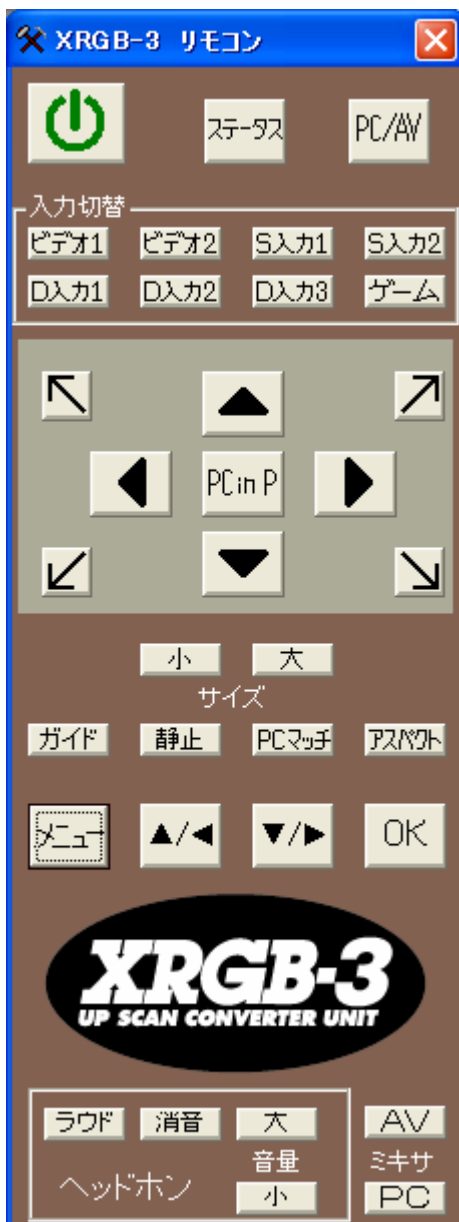
●入出力映像信号調整の各項目の機能

入力信号タイミング	<p>入力の表示幅や位置を調整</p> <p>※画面表示に影響しますので注意が必要です。画面が乱れる恐れがあります。</p>
[h2 pos]	入力画面の水平方向の表示位置を調整可能です。
[v2 pos]	入力画面の垂直方向の表示位置を調整可能です。
[h2 size]	入力画面の水平方向の表示幅を調整可能です。
[v2 size]	入力画面の垂直方向の表示幅を調整可能です。
出力信号タイミング	<p>出力の表示幅や位置を調整</p> <p>※同期信号に影響しますので注意が必要です。画面が表示されなくなる恐れがあります。</p>
[ph1pos]	出力画面の水平方向の表示位置を調整可能です。
[pv1pos]	出力画面の垂直方向の表示位置を調整可能です。
[ph1size]	出力画面の水平方向の表示幅を調整可能です。
[ph1size]	出力画面の垂直方向の表示幅を調整可能です。
入力信号 Clamp	<p>入力信号 Clamp の調整(通常は調整しないでください)</p> <p>※画面表示に影響しますので注意が必要です。画面が乱れる恐れがあります。</p>
[clamp_start]	クランプのスタート位置を調整できます。
[clamp width]	クランプの幅を調整できます。
出力同期タイミング	<p>出力同期タイミングの調整(通常は調整しないでください)</p> <p>※同期信号に影響しますので注意が必要です。画面が表示されなくなる恐れがあります。</p>
[hst]	出力の水平同期信号を直接ドライブします。
[vst]	出力の垂直同期信号を直接ドライブします。
[hsw]	同期信号を直接ドライブします。
[vsw]	同期信号を直接ドライブします。

※「出力信号タイミング」や「出力同期タイミング」は出力の同期信号を直接制御する機能なので、調整しすぎると画面が全く表示されなくなる恐れがありますので、調整は慎重に行ってください。

●リモートコントロールの概要

XRGB-3 とパソコンを USB ケーブルで接続することで、パソコンからリモコンと同様の操作が可能となりました。操作方法や操作画面は基本的にリモコンと同じです。



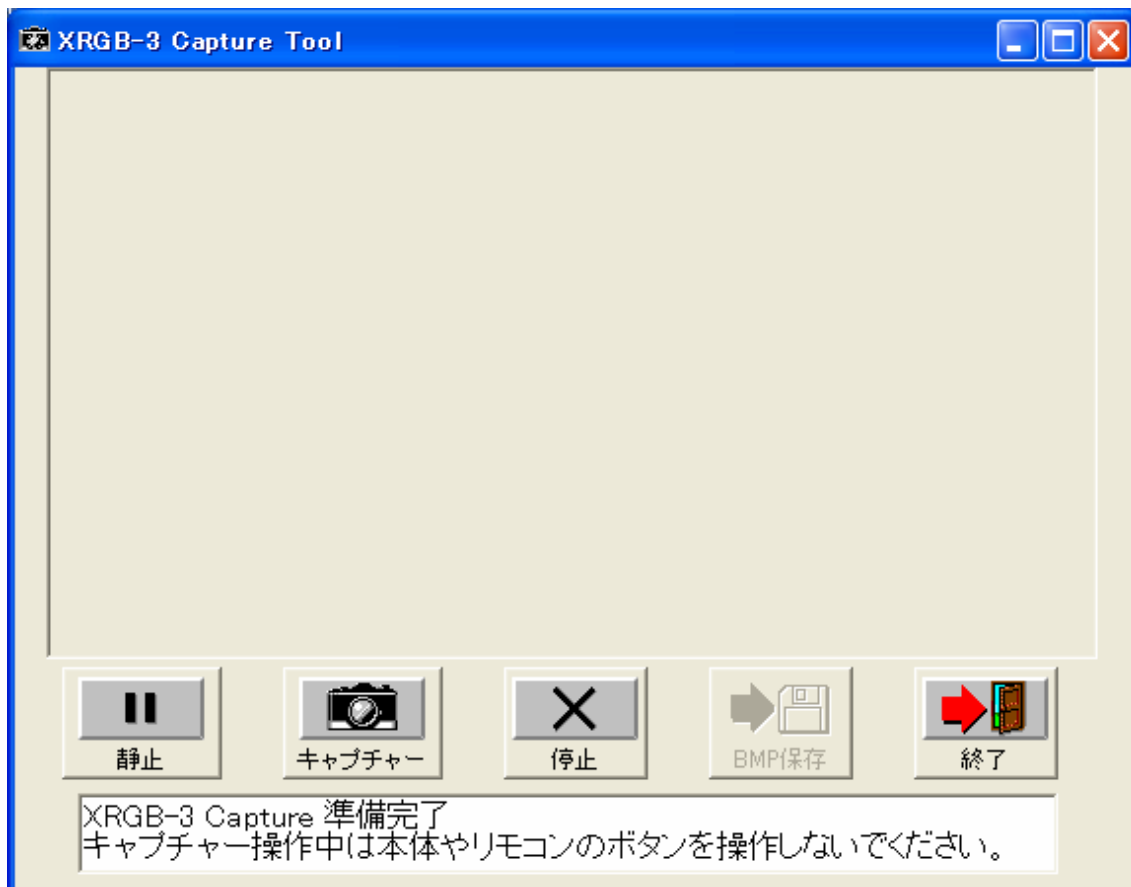
※電源ボタンは、アプリケーションの終了ボタンになっております。

※「入出力映像信号調整」や「キャプチャー」機能と同時に使用すると、XRGB-3 の画面表示や動作がおかしくなる、またはフリーズすることがあります。

※パソコンのアプリケーションがフリーズしてしまった場合は、XRGB-3 から USB ケーブルを取り外し、パソコンと XRGB-3 を再起動してください。XRGB-3 の電源ボタンが操作できない場合は AC アダプターの挿抜が必要になる場合があります。

●キャプチャー・ツールの概要

キャプチャー機能を使用することにより、現在画面に表示されている映像を USB ケーブル経由でパソコンに静止画取り込みできます。



●キャプチャー可能な映像

XRGB-3 でキャプチャー機能を使用するときは、「ビデオ入力 1/2」は利用できません。

また、スルー出力のパソコン映像もキャプチャーすることはできません。

S 端子、D 端子(コンポーネント)、RGB 信号の XRGB-3 で変換(スキャンコンバート)された映像のみがキャプチャー可能となります。

※キャプチャー画像に「ゴミノイズ」などが混入することがあります。

※「入出力映像信号調整」や「リモコン」機能と同時に使用すると、XRGB-3 の画面表示や動作がおかしくなる、またはフリーズすることがあります。

※パソコンのアプリケーションがフリーズしてしまった場合は、XRGB-3 から USB ケーブルを取り外し、パソコンと XRGB-3 を再起動してください。XRGB-3 の電源ボタンが操作できない場合は AC アダプターの挿抜が必要になる場合があります。

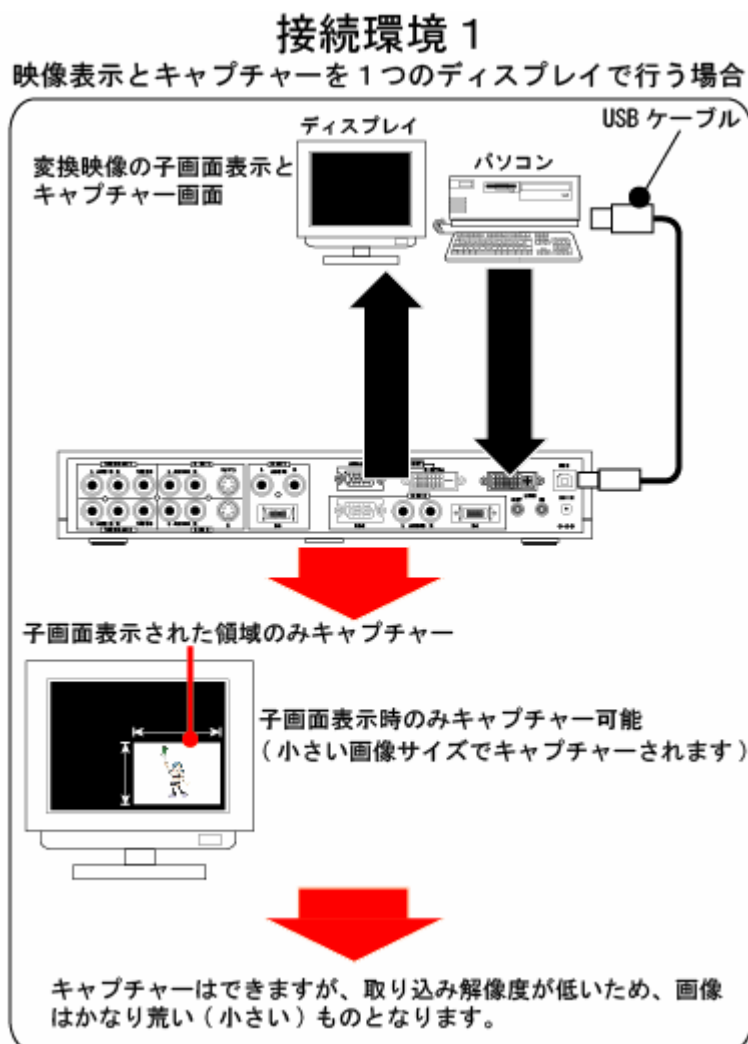
●キャプチャー・ツール使用時の接続環境

キャプチャー機能をご利用頂くには、下記の「接続環境1」または「接続環境2」の接続環境で、XRGB-3 で変換した映像が、ディスプレイ画面に表示されている必要があります。

<接続環境1>

下記の接続の場合、XRGB-3 の一般的な接続でそのままキャプチャー機能を利用できます。ただし、キャプチャー・ツールと XRGB-3 で変換した画面を同時に表示してキャプチャー操作をしなければならないので、「子画面表示(PCinP など)」を利用する事になります。

なお「子画面表示」で映像をキャプチャーすると、子画面のサイズでしかキャプチャーできないので、取り込み後の画像サイズは小さい物となります。



※子画面表示していないときは、キャプチャー操作を行っても映像の取り込みができません。

<接続環境 2>

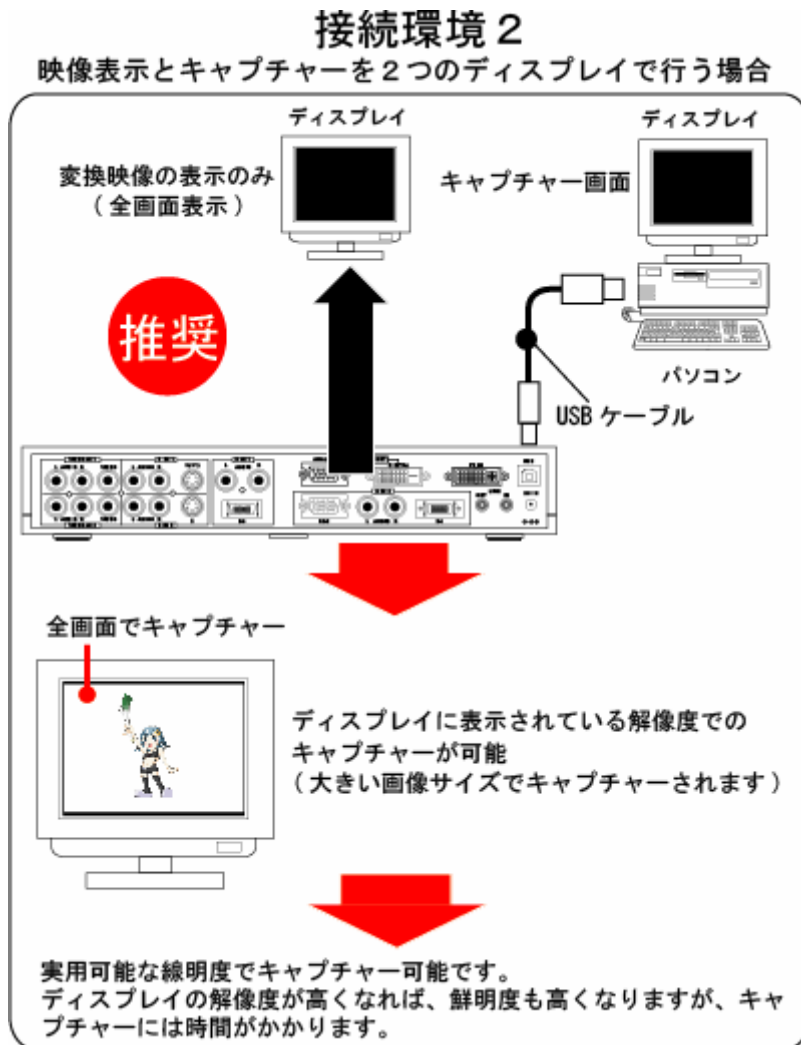
下記の接続は、XRGB-3でキャプチャー作業を行うための最も推奨される接続方法です。

ただし、ディスプレイが2台必要となります。キャプチャー・ツールはパソコン側のシステムで行い、キャプチャーしたい映像の確認やゲームプレイは別のディスプレイで行います。

この接続で映像をキャプチャーする場合は、XRGB-3が現在表示しているディスプレイの全画面の解像度(実際には表示領域の解像度)をキャプチャーすることができます。

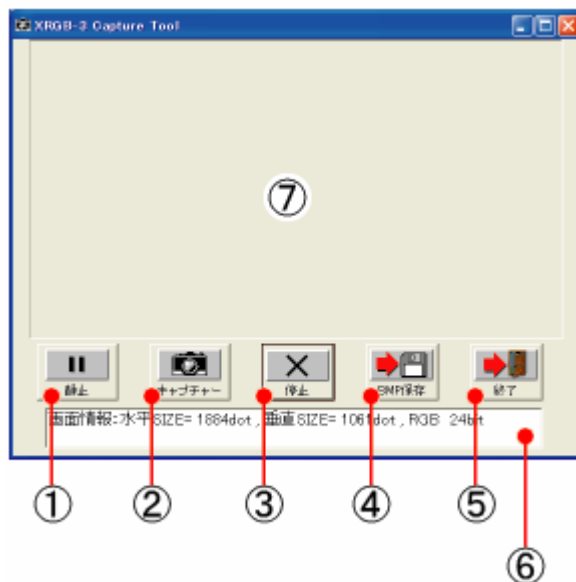
取り込み画像サイズは大きな物なので、鮮明にご覧いただけます。

弊社では「接続環境 2」での利用をお勧めします。



●キャプチャー・ツールの機能解説

キャプチャー・ツールの画面



①「静止」ボタン

XRGB-3 で変換した映像を静止(フリーズ)することができます。

②「キャプチャー」ボタン

キャプチャーを開始するためのボタンです。

③「停止」ボタン

キャプチャー作業中にキャプチャーを中止するためのボタンです。

④「BMP 保存」ボタン

キャプチャーした画像をパソコンに保存するためのボタンです、

⑤「終了」ボタン

キャプチャー・ツールを終了するためのボタンです。

⑥「メッセージ領域」

様々なメッセージが表示され、キャプチャー・ツールの状態を確認することができます。

⑦「表示領域」

キャプチャーした画像が表示される部分です。

●キャプチャーしてみよう

1、キャプチャー作業を行う前に XRGB-3 のスクリーン・メニューの「スペシャル」内の「FPGA SELECT」を操作し、「B2」を選択し、「OK」ボタンを押してください。

※「FPGA SELECT」が、「B0」の場合は「⑥メッセージ領域」に警告メッセージが表示されキャプチャー作業を行うことができない状態になります。

※XRGB-3 のスクリーンメニューの「電源設定」を「オン」に設定している方は事前に「スタンバイ」に戻してください。

2、XRGB-3 の電源ボタン(POWER)を押して、XRGB-3 を再起動してください。

(電源：「オン」→「スタンバイ」→「オン」)

3、XRGB-3 で変換した映像(ビデオ以外の映像)をディスプレイ(全画面、または子画面)に表示します。

4、キャプチャーしたい画面が表示されたときにキャプチャー・ツールの「①静止」ボタンをクリックしてください。

画面が静止(フリーズ)され、キャプチャー可能な状態となります。

5、キャプチャー・ツールの「②キャプチャー」ボタンをクリックしてください。

キャプチャー・ツールのウィンドウ内に取り込み中の画像が「⑦表示領域」に、ゆっくりと表示されて行きます。キャプチャー作業には時間がかかります。



※写真はイメージです。

6、もし、キャプチャーを画像の取り込み中に中止したいときは「③停止」ボタンを押してください。

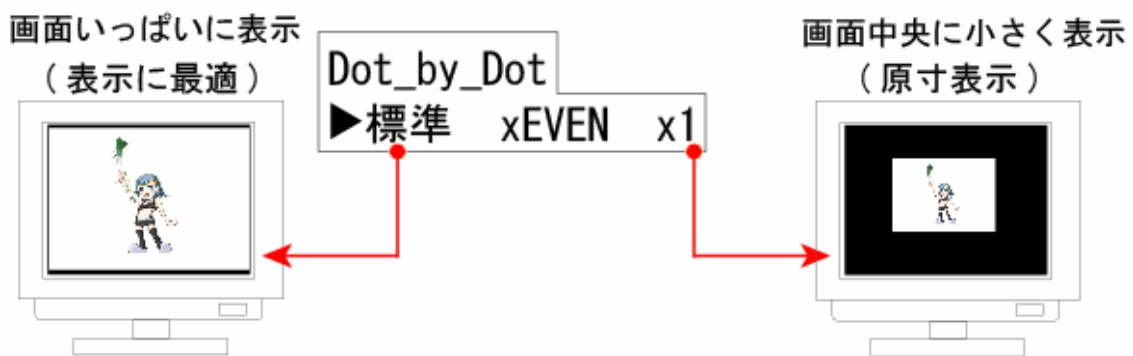
7、キャプチャー後の画像をパソコンに保存したいときは、「④BMP 保存」ボタンを押してファイルの保存作業を行ってください。

8、キャプチャー・アプリケーションを終了する際は、「⑤終了」ボタンをクリックしてください。

●もっとくっきりキャプチャーしたい

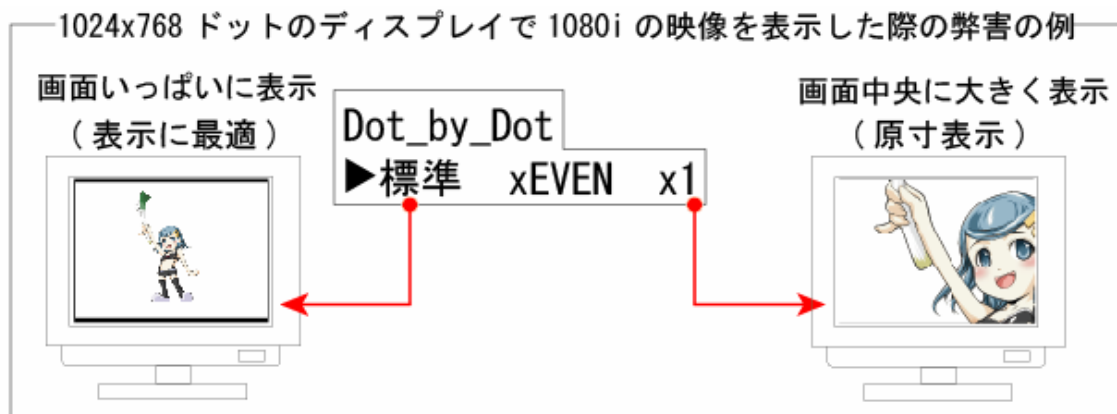
もしお客様が「接続環境 2」でご利用の場合、スクリーンメニューの「スペシャル」→「Dot_by_Dot」を「x1」に設定することで、よりクッキリとしたキャプチャーを行うことができます。

「Dot_by_Dot」とは XRGB-3 でスケーリング(元の映像からディスプレイに最適な解像度に変換すること)を行わないモードです。このため、元映像に最も忠実なキャプチャーが可能となります。ただし、「x1」は元映像を原寸表示する機能であるため、画面中央に小さく表示され、ゲームプレイなどの際は少々見づらい物となります。



また、表示ディスプレイの解像度より大きな解像度の映像を表示した場合、例えば下図の様に 1024×768 ドットのディスプレイに 720p や 1080i の映像を表示した場合は、原寸表示のため映像が画面から大きくはみ出して表示されるため、表示やキャプチャー作業には適しておりません。

表示ディスプレイより高い解像度の映像をキャプチャーしたり、表示する際は、設定を「標準」に戻すことをお勧めします。



●XRGB CMD LOAD

ファームウェア・アップデートを行わず、画面調整のデータのみ書き換える機能です。「cmd」ファイルを弊社から提供する場合に利用可能です。現在「cmd」ファイルは単体で公開されておりません。

※不正な「cmd」ファイルをロードすると、XRGB-3 が起動しなくなります。ご注意ください。

■ご使用にあたって

<USB に関する互換性に関して>

- ・XRGB-3 における USB の互換性の問題から、AMD(ATI)、nVidia、SiS のチップセット(USB ホストコントローラー)を使用した一部パソコンで本機能をご利用頂けない場合があります。弊社では Intel 社のチップセットを使用したパソコンでの動作を確認しております。
- ・パソコンと XRGB-3 が USB ケーブルで接続されているときにパソコンの電源を切ったり、パソコンが待機状態 (スタンバイ) になると、XRGB-3 がフリーズ (ボタン操作を受け付けない) 状態になりますのでご注意ください。XRGB-3 へ USB ケーブルを接続する際は Windows が完全に起動してから接続することをお勧めします。

<USB 制御中にできないことや禁止事項>

XRGB-3 の本体、またはリモコンのボタンから操作を行ったり、解像度を変更しないでください。また、本機へ接続している映像信号のケーブル類を抜き差ししないでください。

■ご注意

- ・お客様の責任でファームウェア・アップデートが失敗した場合は、有償修理となります。
- ・本ソフトウェアならびにファームウェアに関する著作権はマイコンソフト (株) に帰属します。
- ・ソフトウェアならびにファームウェアのお客様によるリバース・エンジニアリングならびに改変は、これを禁止いたします。
- ・本ソフトウェアならびにファームウェアの公開ならびに添付は、予告なく変更・中止することがあります。マイコンソフト (株) は、これらを原因として発生した損失や損害に対して、一切責任を負わないものとします。
- ・本ソフトウェアならびにファームウェアの仕様は、予告なく変更することがあります。
- ・本ソフトウェアならびにファームウェアは正常に動作することを前提としていますが、ソフトウェアならびにファームウェアの仕様および不具合により、お客様の想定した利用ができなかったことなどにより発生した損害や損失に対して、マイコンソフト (株) は一切責任を負わないものとします。また、ベータ (評価) 版については、一切の保証やサポートは致しかねます。ご了承下さい。
- ・本ソフトウェアならびにファームウェアを使用したことにより、また使用できないことにより発生した損害や損失に対して、マイコンソフト (株) は一切責任を負わないものとします。